

2/2 の節分と 2/3 の立春は、124 年ぶり

令和3年は「立春」が2月3日で、その前日の2月2日が「節分」です。立春は2月4日で、節分の豆まきと言うと2月3日というイメージですが、これは昨年までの36年間で、連続して2月3日だったため、もともとその年により、2月3日～5日の間で変わるものです。

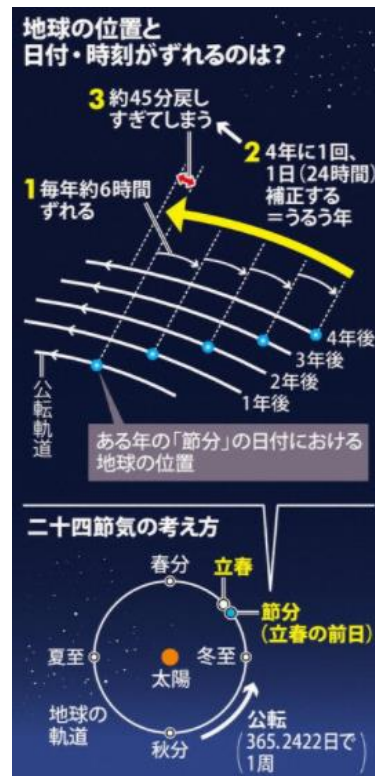


●何故、立春の日は変わるのか？

立春とは、一年を春夏秋冬の四つの季節に分け、さらにそれぞれを2週間ごとの6つに分けた暦（二十四節季）の一つで、春は、立春で始まり、雨水、啓蟄と続き、春のど真ん中が、春分です。

地球は、1年間で太陽を一周（360度）します。しかし、ぴったり365日ではなく、およそ365日と6時間かかり、位置と時間がずれてしまいます。そこで4年に一回、1日多い、うる年を作って調整しているのですが、それでもずれてしまいます。地球の軌道上で315°の位置（昼と夜の時間が同じになる春分点を起点0°とした）が「立春点」ですが、ぴったり地球が、立春点にくる時刻が、毎年ずれています。

令和3年はその時刻が、2月3日23時59分と2月4日より1分早かったため1日早くなりました。ちなみに昨年は、2月4日18時3分だったそうです。暦については、天体の動きについて詳細に調べて計算している国立天文台が、発表しています。



■詳しい説明は、国立天文台のHPを開いてみよう！

※春分の日を使って説明していますが、理由は同じです。

【関連HP】 国立天文台 HP

①よくある質問 「質問3-2) 春分の日はなぜ年によって違うの？」

<https://www.nao.ac.jp/faq/a0302.html>

②こよみ用語解説 : 「二十四節季」の説明です。

<http://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/faq/24sekki.html>

①



②



●観測史上最も早い(2/4)「春一番」！

立春から春分の間（今年は2月3日～3月20日）に最初に吹く強い南風のことを「春一番」と呼びます。

気象庁によると、「①立春から春分までの間に、②日本海で低気圧が発達し、③広い範囲で初めて吹く、④暖かく（前日より高い）、④強い南よりの風(8m/s以上)」が基準のようです。

関東地方での令和3年の春一番は、立春の次の日の2月4日（木）で、東京での風速は8.6m/sで、最高気温は12.4℃だったそうで、昨年より18日も早く、観測史上最も早く吹いた春一番だったそうです。



【関連授業】 2年理科 / 単元3 天気とその変化 / 3章 大気の動きと日本の天気 / 1 日本の天気の特徴
3年理科 / 単元4 地球と宇宙 / 2章 地球の運動と天体の動き / 4 季節の変化